

平成 30 年度 施策評価表

施策	2402 男女共同参画の推進	施策担当部等	総務部	部長	田中 博文
		施策担当課等	男女いきいき推進課	課長	福田 純子
施策の方針	男女共同参画社会の実現に向けた教育など普及啓発を図り、男女の人権が尊重される社会づくりを行う。				

【DO（実施）】
基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H29年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 男女共同参画社会について理解している人の割合	%	54.2	57.2 47.0	57.9 48.8	58.6	59.3	60.0	84.3%	81.3%
② 男女が平等な社会と感じる人の割合	%	40.7	46.9 41.6	50.2 40.1	53.5	56.8	60.0	79.9%	66.8%
③ 審議会等への女性委員の参画割合	%	24.9	27.9 25.6	29.4 24.7	31.3	33.2	35.0	84.0%	70.6%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

男女共同参画に関する意識啓発については、講演会や講座の開催、また、「男女共同参画推進センターだより」や広報紙・ホームページにおいて情報発信を行っているが、前年度と比べ微増にとどまっている。審議会等への女性委員の参加割合については、個々の審議会の比率アップに関係各課においてさらに努めていきたい。

施策経費

内訳	(単位:千円)			特記事項
	H29年度 決算	H30年度 予算	H31年度 見込	
事業費	6,585	8,689	4,993	
国庫支出金	869	870	870	
県支出金	150	150	150	
地方債	0	0	0	
その他	761	765	276	
一般財源	4,805	6,904	3,697	
人件費	11,372	11,747	-	
フルコスト	17,957	20,436	-	

施策の概要

240201	男女共同参画の意識の醸成	男女が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会づくりを目指し、性別による固定的な役割分担意識の解消に向けた効果的な意識啓発を行います。 また、学校、家庭、地域、職場などのあらゆる場において、男女共同参画の意識を醸成するための教育や学習機会の充実に努めます。
240202	女性の活躍による社会の活性化	女性の雇用環境改善や再就職・起業の支援などを行うとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた啓発や子育て支援を行い、家庭や職場・地域における男女共同参画を推進します。 また、審議会等への女性登用や政策・方針決定過程への女性の参画を推進します。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

<p>施策を達成 する上での 問題点・課題</p>	<p>男女共同参画の意識啓発のため、講演会・講座等を開催しているが、参加者をいかに増やしていくか苦慮しているところである。中でも、広く意識啓発を行うため、参加者が少ない若年層の参加を促していくことが課題である。また、審議会委員への女性の登用については、審議会の委員に就任することが多い、各種団体の長や役員が男性である場合が多い。女性委員の人材不足を補うため、女性の人材発掘をどう行っていくか等についての課題がある。</p>
-----------------------------------	---

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

<p>(今年度は評価調整委員会による評価の対象外)</p>	
-------------------------------	--

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>男女共同参画の意識啓発のための講演会・講座等の開催において若年層の参加を向上させるため、講演会・講座等のテーマ選定において、若年層に的を絞った内容や興味を持ってもらえるような講座を多く開催できるよう努める。また、講座開催の広報についてもチラシ配布場所を講座内容により追加したり工夫を行い、ホームページ、フェイスブック等を通じて広く行う。</p> <p>審議会における女性の登用については、委員の選定時に女性委員の積極的な登用に努めるよう、各所属長へ周知する。</p>
---	--

平成31年度新規事業

事業名 (仮称)	担当課	H31年度見込	対象・事業概要など
		事業費 (千円)	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	